

「食と緑の基本計画2025」プロジェクト取組状況確認表

緊急プロジェクト

- ・ 魅せよ愛知の底力、コロナ禍克服プロジェクト・・・・・・・・・・ 1

重点プロジェクト

- ・ 技術力×人材の活躍で切り開く農業生産力向上プロジェクト・・・・・・・・ 2
- ・ 持続可能な社会に向けた「あいちのスマート林業」実現プロジェクト・・ 3
- ・ 豊かな海の再生に向けた漁業生産力強化プロジェクト・・・・・・・・・・ 4
- ・ アジア競技大会に向けたあいちの農林水産業魅力向上プロジェクト・・ 5
- ・ 安全・安心な暮らしを守る農山漁村地域防災・減災プロジェクト・・・・ 6

緊急 プロジェクト	新型コロナウイルス対策 魅せよ愛知の底力、コロナ禍克服プロジェクト
----------------------	---------------------------------------------

新型コロナウイルス感染症による経済環境の悪化から速やかに脱却するため、不測の事態による影響を最小限に抑えるための取組を生産・消費の両面から進めるとともに、“新しい生活様式”の下での消費習慣の変化を踏まえた新たな流通・消費の仕組み作りなどに取り組みます。



【 2021 年度の主な取組内容(プラン) 】

生産面における影響克服と対応力強化

取組内容	活動計画
<p>▶ 栽培品目の転換や経営の多角化</p> <p>○栽培品目の多様化によるリスク分散の提案、新たに導入しやすい低コスト栽培システムの開発や生産設備の高度化支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輪ギク経営への他品目導入支援 ・低コスト栽培技術等に関する研究の実施  <p>○花きにおける消費者が使いやすい出荷方法の検討、新たな需要を喚起する新品種の開発や他品目等への転換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輪ギクからスプレーギクへの品目転換の実証 <p>▶ 労働力の安定的な確保</p> <p>○自動化・省力化のためのスマート農業技術の実証と産地導入の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業推進協議会の設立 ・スマート農業推進方針の策定 ・スマート農業技術の実証及び導入推進 <p>▶ 危機管理体制の強化</p> <p>○農林漁業経営体が業務継続に必要なBCPを策定することへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BCP（事業継続計画）の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入品目の経営モデルの策定、提案。 ・花き等について、生産性を高める環境制御技術や低コストで労働生産性を高める技術や、長期輸送時における品質劣化を防ぐ技術を開発。 ・ジャパンフラワー強化推進事業を活用し、品目転換を現地実証。 ・本県のスマート農業技術の開発と普及の迅速化を図るため、スマート農業推進協議会（スマート農業部会）を設立し、1月までにスマート農業普及推進計画（仮称）を策定。 ・スマート農業推進事業により、スマート農業技術の現地実証（2地区）及び地域における営農体系の検討（2地区）を実施。 ・自然災害等へのリスクに備えるため、農業用BCP資料を配付し、策定を啓発。 ・「園芸産地における事業継続強化対策」におけるBCP策定指導を実施（6月～）。

取組内容	活動計画
<p>▶ 林業生産体制の強化</p> <p>○事業継続のため、林業経営体の経営基盤や木材の生産流通体制を強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あいちの五つ星林業経営体認定制度」の推進 ・高性能林業機械の導入支援 ・木材需給情報システムの導入  <p>▶ 漁業生産体制の強化</p> <p>○水産物の新たな販路拡大に対応できる鮮度保持施設の整備を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産物の品質向上を図る製氷・貯氷施設の整備を支援  <p>○漁業資源の維持確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種苗放流の取組支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営者に対する各種研修の実施や先進林地派遣の支援、経営サポートなどを実施 ・林業経営体2件について高性能林業機械の導入を支援。 ・生産、流通、加工を担う各事業者が木材需給情報システムを実際に導入し、需給マッチングを実践。 ・日間賀島漁協及び大濱漁協の製氷・貯氷施設の整備を推進。 日間賀島漁協：製氷能力 10t/日 × 2 基 貯氷能力 15t × 3 室 大濱漁協：製氷能力 20t/日 × 2 基 貯氷能力 75t × 3 室 ・漁業協同組合が実施するアワビ、ミルクイ、アサリ、アユの種苗放流の取組を支援

消費面における販路の多様化や新規需要の拡大

取組内容	活動計画
<p>▶ 販路の多様化や新規需要の拡大</p> <p>○農林水産物の新たな販路開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国が実施するインターネット販売、デリバリー、学校給食といった新たな販路の開拓を促進するための施策等の活用に向けた誘導・啓発  <p>▶ 新しい生活様式への対応</p> <p>○日常生活に花きを取り込む運動の推進や県産木材利用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等における花きの展示と企業等における新たな花きの活用スタイルの創出 ・「木のある快適な暮らし」の普及 	<ul style="list-style-type: none"> ・国産農林水産物等販路多様化緊急対策事業の事業実施者に対する申請等支援（国の動向に合わせて随時実施）。 ・名古屋コーチンの販売促進のためコンビニ等加工販売事業者での新たな活用の取り組みに対する支援を実施。 ・委託業者と契約（～8月）し、県内全域の公共施設等で花の展示を行うとともに新しい生活様式に対応した冠婚葬祭での新たな活用方法の提案をまとめる。 ・「新しい生活様式」に対応した県産木材製品を始めとした県産木材のPRを実施。

食と緑の基本計画 2025 重点プロジェクト取組状況確認表

重点プロジェクト 1	農業の生産力強化 技術力×人材の活躍で切り開く農業生産力向上プロジェクト
技術力による生産性の向上や農産物の高品質生産を一層進めるとともに、それらの先端技術を使いこなすハイレベルな生産者・産地の育成や農業生産力の要である生産基盤の充実強化を図り、新型コロナ等の不測の事態にもしっかりと対応しうる、足腰の強い産地を育成します。	
	
目標：農業産出額 3,150億円	

【 2021 年度の主な取組内容(プラン) 】

▶スマート農業の社会実装

取組内容	活動計画
○スマート農業技術の開発と実装を迅速化 <ul style="list-style-type: none"> 研究戦略部と普及戦略部の連携により、研究から普及までを一貫して推進 スマート農業技術の実証及び導入推進 	<ul style="list-style-type: none"> 農業総合試験場内に新たに「革新技術開発会議」を設置し、研究戦略部及び普及戦略部が連携してスマート農業技術の開発を推進。 スマート農業推進事業によるスマート農業技術の実証（2地区）、スマート農業技術を組み込んだ営農体系の検討（2地区）。
<ul style="list-style-type: none"> スマート農業指導人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 普及指導員研修等による知識の習得。
○産地におけるデータの活用推進 <ul style="list-style-type: none"> データ運用のためのルール作り 	<ul style="list-style-type: none"> データ活用のルール作りを進め、農業者が安心してデータ提供できる環境を整備。
○産地の新技術導入の取組をソフトとハードの両面から支援 <ul style="list-style-type: none"> 産地パワーアップ事業、あいち型産地パワーアップ事業、農業生産力強化支援事業、畜産クラスター事業の活用推進 「あいち農業高度化プランナー」を4地区に派遣 	<ul style="list-style-type: none"> 集出荷施設等の整備、鉄骨ハウス一式、畜舎等を導入。
<ul style="list-style-type: none"> 課題解決の必要な方策の実証・構築を7産地で実施 	<ul style="list-style-type: none"> 産地：JA 愛知西 品目：ぎんなん 内容：機能性表示による販売力向上 【参考】 JA あいち海部（レンコン、トマト）、JA あいち豊田（なす）、JA あいち経済連（イチゴ） 産地：あまイチゴ組合新規就農支援協議会 品目：いちご 内容：新規就農希望者の確保及び育成支援検討

取組内容	活動計画
	【参考】 祖父江ぎんなんブランド協議会（ぎんなん）、あまトマト部会産地活性化協議会（トマト）、JA 西三河いちご産地振興委員会（いちご）、JA あいち三河「いちご」産地活性化プロジェクトチーム（いちご）、JA あいち中央梨産地振興協議会（梨）、ほうれんそう産地戦略実証協議会（ほうれんそう）

▶担い手や産地のレベルアップ

取組内容	活動計画
○農業を支える多様な人材の確保・育成 <ul style="list-style-type: none"> 新規就農者の確保・育成 	<ul style="list-style-type: none"> 農起業支援ステーション、農起業支援センターでの就農相談。農大会場とオンラインでの就農説明会の開催。 就農相談や新規就農者情報の一元管理と関係部署での共有。
○専門家の派遣による経営管理の高度化支援 <ul style="list-style-type: none"> 中小企業診断士等の専門家との連携による高度な経営指導の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 経営改善や法人化を希望する農業者に対して年40件以上の経営指導を実施。
○産地が策定した戦略の実現に向けた支援 <ul style="list-style-type: none"> ソフト、ハード事業の活用支援 	<ul style="list-style-type: none"> 地域戦略の実現を推進し、将来の愛知県農業生産力の向上を図るため、事業を活用し支援。

▶農地等基盤の整備と担い手への農地集積等

取組内容	活動計画
○農地の大区画化や汎用化などによる生産基盤の整備 <ul style="list-style-type: none"> 農地や農業水利施設等の整備・更新面積 	<ul style="list-style-type: none"> かんがい排水事業、経営体育成基盤整備事業等により、農地や農業水利施設等の整備・更新を行う。（2021年度予定：376ha）
○農地の集積・集約化の推進 <ul style="list-style-type: none"> 担い手への集積面積 	<ul style="list-style-type: none"> 農地中間管理機構への運営支援や農地貸出者への協力金の交付。農地中間管理機構による転貸。（2021年度 経営転換協力金 279ha 地域集積協力金 423ha）
○水田フル活用と高収益作物への転換を推進 <ul style="list-style-type: none"> 高収益作物への転換面積 	<ul style="list-style-type: none"> 経営所得安定対策等における産地交付金などを活用した小麦及び大豆の作付面積の拡大の推進。（2021年度小麦 5,697ha、大豆 4,560ha）

食と緑の基本計画 2025 重点プロジェクト取組状況確認表

重点プロジェクト 2	林業の生産力強化 持続可能な社会に向けた「あいちのスマート林業」実現プロジェクト
----------------------	----------------------------------------------------

本県の充実した森林資源を生かす「伐る・使う→植える→育てる」循環型林業は、SDGs（持続可能な開発目標）の理念を体現し、循環型林業を推進するため、「スマート林業の推進」と「都市部における木材利用の推進」に取り組みます。

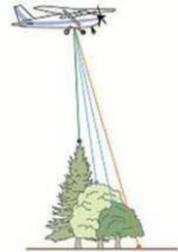
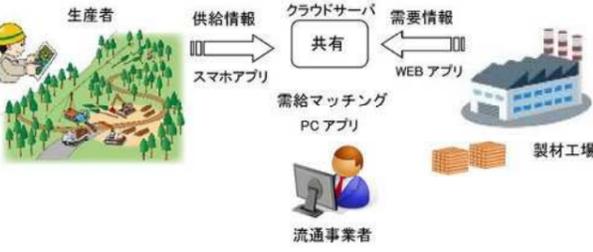
▶

目標：県産木材生産量 18.0万m³



【 2021 年度の主な取組内容(プラン) 】

▶スマート林業の推進

取組内容	活動計画
<p>○航空レーザ計測による森林資源や地形情報を一元管理するシステムの開発・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 航空レーザデータの解析 森林情報クラウドシステムの導入調査  <p>○林道等の整備の推進や高性能林業機械の計画的で効率的な活用を促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 林道の整備・保全 高性能林業機械の導入による間伐の推進  <p>○ICTを活用した木材需給情報システム等の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> 木材需給情報システムの導入 ICT林業機械の導入推進 	<ul style="list-style-type: none"> 3.9万 ha の航空レーザデータの解析を実施し、県全体 20.7 万 ha の解析完了。 森林情報を関係者で共有し事業地の選定などに活用するため、森林情報クラウドシステムの導入に向け、市町村や事業体などへの聞き取りや先進事例調査を実施。 木材生産の効率化を図るため、12km の林道・作業道を整備・保全。 施業の効率化を図るため、林業事業者による高性能林業機械の導入を2件支援するとともに間伐材の有効活用を促進。 木材生産・流通の効率化に向け、生産、流通、加工を担う各事業者が木材需給情報システムを実際に導入し、需給マッチングを実践。 木材の需要に応じ自動で採材等が可能となる ICT ハーベスタの現地実証調査を実施。

取組内容	活動計画
<p>○エリートツリーなどの成長の早い樹木の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 試験研究課題の実施 エリートツリーや早生樹の普及  <p>○計画的かつ体系的な研修による林業技術者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種研修の実施 「あいちの五つ星林業経営体認定制度」の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 種苗生産技術や育成技術等の開発（3課題） エリートツリーや早生樹の普及に向け、試験植栽地を設置。 現場技能者のキャリアアップや新技術の習得、労働安全衛生等の研修を実施（103日）。 経営者に対する各種研修の実施や先進林業地派遣の支援、経営サポートなどを実施。

▶都市部における木材利用の推進

取組内容	活動計画
<p>○木材の魅力発信及び木材利用の理解促進</p> <ul style="list-style-type: none"> イベント等での県産木材の普及啓発 <p>○乾燥材や JAS 構造材など需用者が求める品質・規格に沿った製材品の安定供給体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 木材加工流通施設の整備に対する支援 <p>○木造・木質化に精通した技術者等との連携強化</p> <p>○民間施設や中高層建築物の木造・木質化を担う技術者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 木造建築技術者育成講座の開催 <p>○飲食店やショッピングセンターなどの民間施設の木造・木質化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> PR効果の高い民間施設等での県産木材利用に対する支援 	<ul style="list-style-type: none"> あいち木づかいフェスタ他4回のイベント等で県産木材の普及啓発を実施。 次世代林業基盤作り事業により、木材製材施設やプレカット加工施設など5件の整備を支援。 環境都市実現化のための木造化・木質化推進あいち協議会と連携し、木造建築技術者を育成する講座を18回、現地研修を1日開催。 木の香る都市づくり事業により、オフィスビルや学童保育施設等の木造・木質化を支援。 木造・木質化の課題抽出及び解決策の検討。 高層建築物や中層建築物、商業施設など、それぞれを木造・木質化した場合の効果、実現性、波及性などを明確化し、実施主体に適切な働きかけを実施。

食と緑の基本計画 2025 重点プロジェクト取組状況確認表

重点プロジェクト
3

水産業の生産力強化

豊かな海の再生に向けた漁業生産力強化プロジェクト

漁場の造成、栽培漁業の拡充や資源管理の強化、新しい増養殖技術の開発・導入、漁業生産に必要な栄養塩量の確保など、新型コロナ等の不測の事態にもしっかりと対応しうる漁業生産力の強化を推進します。



目標：漁業産出額 410億円

【2021年度の主な取組内容(プラン)】

▶漁場や増殖場の造成

取組内容	活動計画
<p>○内湾域の干潟・浅場の造成や、渥美外海域での魚礁漁場の整備により、水産資源の増大を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 干潟・浅場の造成 	<ul style="list-style-type: none"> 干潟・浅場 5ha を造成。 西尾地区：2ha (造成材は矢作川浚渫砂及び矢作ダム堆積砂) 田原地区：3ha (造成材は地先の浚渫砂)
<ul style="list-style-type: none"> 魚礁漁場の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 渥美外海で 911 空 m³ を整備。 鋼製魚礁 2 基、コンクリート魚礁 5 基
<p>○冬季の波浪の影響を軽減する、砕石を用いた貝類増殖場の造成により、アサリ資源の回復を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 貝類増殖場の造成 	<ul style="list-style-type: none"> 三河湾 3 地区で 15~20cm の砕石を利用した増殖場 3 ha を造成。 東幡豆地区：1ha 一色地区：1ha 大井地区：1ha

▶水産資源の増大や有効利用

取組内容	活動計画
<p>○栽培漁業センターにおける新規魚種の生産など栽培漁業の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> 放流用種苗の生産  <ul style="list-style-type: none"> ハマグリ種苗生産技術の開発試験 	<ul style="list-style-type: none"> 28,745.5 千尾 (個) の種苗生産を実施 (クルマエビ、ガザミ、ヨシエビ、トラフグ、ナマコ、アワビ、アユ)。 稚貝の生残率向上を図る育成技術の開発試験を実施。
<p>○魚種毎の資源状況調査の強化による、新しい漁業法に対応した資源管理型漁業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 浮魚類及び底魚類の資源評価・管理技術の開発試験 	<ul style="list-style-type: none"> 既存の 17 魚種に加えて、新たに 7 魚種 (アオメエソ、カワハギ、イボダイ、サワラ、スズキ、カマス類、マダコ) の資源評価を実施。
<p>○水産資源の変動に対応する新しい増養殖技術の開発・導入による漁業経営の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ワカメの種糸生産技術の開発試験 大型ウナギ生産技術の実用化試験 新しい養殖技術の導入を支援 	<ul style="list-style-type: none"> ワカメ種糸の大量生産に向けて、規模を拡大した実証試験を実施。 開発した雌ウナギ作出技術を活用して養殖池での実用化試験を実施。 3 地区でカキのシングルシード式養殖やアサリのカゴ式養殖などの実証試験を実施。

▶栄養塩量の確保

取組内容	活動計画
<p>○秋冬期の下水道放流水のリン増加試験運転の実施による水産資源へのリンの波及効果の解明</p> <ul style="list-style-type: none"> 矢作川及び豊川浄化センターにおける放流水のリン増加試験運転の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 9月～3月にかけて試験運転を実施し、放流水に含まれるリンの海域への拡散やノリやアサリに及ぼす効果を把握。
<p>○採貝漁業やノリ養殖業など漁業生産の回復に必要な栄養塩濃度の算定やその確保の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 海域における適正栄養塩レベルの解明と管理技術の開発に向けた試験 	<ul style="list-style-type: none"> 試験運転が海域の栄養塩濃度に与える影響を再現するための数値モデルを構築。

食と緑の基本計画 2025 重点プロジェクト取組状況確認表

重点プロジェクト

4

県産農林水産物の需要拡大と農山漁村の魅力向上

アジア競技大会に向けたあいちの農林水産物魅力向上プロジェクト

アジア競技大会等の機会を活用し、愛知県産食材等の供給、あいちの花によるおもてなしを行い、また、愛知の農山漁村を訪れてもらうことで地域の活性化につなげるため、県産農林水産物の PR や農山漁村の魅力向上に取り組みます。



▶ 目標:県産農林水産物を優先して購入したい県民の割合 25.0%(現状値:15.4%(2020年))

【2021年度の主な取組内容(プラン)】

▶ 県産農林水産物の需要拡大

取組内容	活動計画
<p>○ブランド化の取組推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「愛ひとつぶ」:生産面積の拡大と品質の安定化による生産体制の強化と認知度向上のためのPR活動の実施 ・カンキツ新品種「夕焼け姫」:消費宣伝会の実施による知名度向上 ・SNS や雑誌などによる県産水産物の情報発信、若い世代への出前授業の実施やパンフレットなど普及啓発用の教材の配布 <p>○県内外に向けたPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏でのトップセールスの実施、SNS を活用したイメージアップ情報の発信、他産業とのコラボレーションによるイメージアップの取組実施 ・いいともあいち運動の推進、ふるさと食品コンテストの開催 <p>○花きによるおもてなしや花贈り文化の普及推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「フラワーバレンタイン」運動の推進、本庁舎「おもてなし花壇」設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・9月の販売開始に合わせて量販店でPR活動実施。 ・11月又は12月に尾張地区で消費宣伝会を開催。 ・産地で県産水産物50種を紹介する「あいちのおさかなカード」を配布するキャンペーンの実施(8~10月)や、県内の全小学校(5年生)への水産物を紹介するパンフレット、下敷き(各7万部)、おさかなブック(5千部)の配布(12月)。 ・首都圏で知事等によるトップセールスの実施(2月・1回)、民間企業へ業務委託のうえSNS活用による情報発信、プロスポーツチームとのコラボによる取組を実施(~5月:委託業者を選定、~3月:事業完了)。 ・ネットワーク会員(新規80会員)、サポーター(新規60会員)、推進店(新規50店舗)、フェイスブックによる情報発信(100記事)、ふるさと食品コンテスト(1回、7~8月)。 ・首都圏でフラワーバレンタインイベント開催(2月)、県産花きを使用して本庁舎正面玄関前花壇を設置(4~3月)。



取組内容	活動計画
<ul style="list-style-type: none"> ・花の王国あいちPR促進運動、各種イベントにおけるあいちの花のPR、花のまちづくり推進等 <p>○県産畜産物の需要拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋コーチンの日に係るPRイベント等実施 ・みかわ牛に係るPRイベント等実施 <p>○農産物の地域内流通網の構築促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元小売店や飲食店が県内の生産者から新鮮な農産物を直接購入できる地域内流通網の設計 <p>○都市部における木材の利用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント等を活用した県産木材の普及啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月「今月のあいちの花」を設定、大相撲名古屋場所等のスポーツイベント等でのPR。「あいち花マルシェ2021」の開催(11月)。 ・畜産フェスタ(10月)、「名古屋コーチンの日」消費拡大イベント(3月)、名古屋コーチン販売支援事業(8月~2月)。 ・畜産フェスタ(10月)、消費拡大キャンペーン(8~10月)。 ・事業者、生産者を対象とした事業量調査(アンケート)及びシステムの比較検討の実施、県内で導入可能な流通ルート設計(~2月末)。 ・あいち木づかいフェスタ(4/29)、ウッドワンダーランド2021(10/7~10)。



▶ 農山漁村の魅力の向上

取組内容	活動計画
<p>○インバウンド需要の安定的な確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド対応セミナーの開催、農業観光ルート創出プロジェクトチーム会議の開催、インバウンドに対する愛知の農林水産物プロモーション <p>○「半農半X」などによる農村地域への移住支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業と他の仕事を組み合わせた働き方である半農半Xに関する調査、情報の発信 <p>○地域資源の利活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化と観光需要の拡大に向けた活動を行う地域を「食と花の街道」に認定 ・シカブランド化の取組、豚熱感染確認区域内におけるジビエ利用方法の普及 	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナーの開催(7月・1回)、チーム会議の開催しルート決定(8月/2月・2回)、モニター調査を実施しルート案評価、参加者によるSNS等での情報発信(2回)。 ・優良事例調査及び有識者ヒアリングの実施、実践事例集、PR動画の作成、WEBによる情報発信(~2月末)。 ・新規の街道認定(2月)、既認定街道とともに県HPで情報発信。 ・料理講習会や施設見学会の開催(2月)、感染確認区域内でのジビエ利用法に関する研修会の開催(11月中旬)。



食と緑の基本計画 2025 重点プロジェクト取組状況確認表

重点プロジェクト
5 農山漁村地域の防災・減災対策
安全・安心な暮らしを守る農山漁村地域防災・減災プロジェクト

全国有数の農業県・日本一の産業県あいちを支える県土の強靱化を進め、安全で安心できる農山漁村の豊かな暮らしを実現するため、ハード・ソフトを適切に組み合わせた防災・減災対策を総合的に推進します。



▶ **目標：農山村地域の防災・減災面積 5年間で6,500ha**

【2021年度の主な取組内容(プラン)】

▶ **防災・減災機能の向上(耐震化等の推進)**

取組内容	活動計画
<p>○排水機場等の農業水利施設の耐震対策及び機能低下の状況等に応じた更新整備を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業用排水機場の耐震対策等による防災・減災対策 <p>▶ 5年間で3,400ha</p> 	<ul style="list-style-type: none"> たん水防除事業や緊急農地防災事業等により農業用排水機場等の耐震対策や更新整備を推進。 (2021年度完了予定：3箇所 1,452ha)
<p>○ため池の耐震対策及び豪雨対策の加速化</p> <ul style="list-style-type: none"> 「愛知県防災重点農業用ため池防災工事等推進計画」に基づく、農業用ため池の耐震対策等による防災・減災対策 <p>▶ 5年間で1,100ha</p>	<ul style="list-style-type: none"> ため池等整備事業等により農業用ため池の耐震対策等を推進。 (2021年度完了予定：16箇所 258ha)
<p>○治山施設の整備・機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 山村地域の防災・減災対策 <p>▶ 5年間で2,000ha</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 治山事業により治山施設の整備・機能強化を推進。 (2021年度完了予定：40地区 400ha)
<p>○海岸保全施設の耐震対策・高潮対策を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 海岸保全施設の耐震対策・高潮対策 	<ul style="list-style-type: none"> 海岸事業により海岸保全施設の耐震対策・高潮対策を推進。
<p>○漁港施設の耐震・耐津波対策を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 漁港施設の耐震・耐津波対策 	<ul style="list-style-type: none"> 漁港の耐震・耐津波対策を促進。

▶ **森林・農地の多面的機能の維持**

取組内容	活動計画
<p>○間伐等の適切な森林整備を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 間伐等の適切な森林整備による多面的機能の維持・増進 	<ul style="list-style-type: none"> 造林事業による森林所有者、森林組合等林業事業者が実施する間伐等森林整備に対する助成。 あいち森と緑づくり事業により、林業活動では整備が困難な人工林の間伐を実施。 過密化した保安林において本数調整伐を実施。 森林経営管理制度により、市町村等が実施する森林整備を支援。
<p>○海岸防災林の維持・造成を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 海岸防災林における防風効果等の機能の維持 	<ul style="list-style-type: none"> 田原市中山町ほか地内において、松くい虫防除対策を実施。
<p>○多面的機能支払制度を活用した地域の共同活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 多面的機能支払制度による地域の共同活動への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 県内407活動組織が行う農地周辺の草刈りや水路の泥上げなどの活動に対し支援。

▶ **ソフト対策の充実**

取組内容	活動計画
<p>○被災後に排水機場を早期に稼働させるため、施設管理者の管理体制を強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設管理者への助言・指導や管理状況等の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 施設管理者への助言・指導の一環として、停電・断水時における排水機場の早期稼働を想定した防災訓練を3機場で11月までに実施。
<p>○ため池の管理者と連携し、ため池の適正な管理・保全を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設管理者への助言・指導や管理状況等の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 管理状況等の確認の一環として、ため池を持つ17市町において、1箇所ずつ現地パトロールを実施。
<p>○ため池のハザードマップなどを用いた防災・減災への県民の意識向上を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ハザードマップの作成 	<ul style="list-style-type: none"> 決壊した場合に下流の人家等に大きな被害が生じる可能性のあるため池のハザードマップの作成(15市町 63箇所)。